



ほんものを たべよう

Alter Weekly Order Catalogue

2017. 11月2週号

提出日	10/ 火	11/ 水	木	金
	31	1	2	3
配達日	11/ 火	水	木	金
	7	8	9	10
翌々週配達日	11/ 火	水	木	金
	14	15	16	17

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

○「だれが・どこで・どのように作ったか」の情報を日本一公開します。

○「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。

○原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。

○プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

漆器 LACQUERWARE

祝復活! TOMATO畑の こだわり漆器

国内でも製造を始めました。

(有) TOMATO畑

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)



ケヤキトレーニングプレート(日本製)



田中榮二さん(左)、田中秀樹さん(右)

TOMATO畑漆器の復活

オルターカタログ2014年3月4週号で紹介したTOMATO畑の田中 栄二さんが作る、化学薬品を一切使わないこだわり漆器は多くの会員から大好評を博していました。しかし、2016年3月に突然その製造ができなくなり、5月を最後に企画を中止していました。その理由は、中国福建省で製造していた拠点工場を襲った大地震による浸水で、乾燥中だった漆器原材料3年分を失ったことなどからでした。

このたび、ようやく工場が再開でき、再びお届けが可能になりました。たいへん嬉しいことです。

国内生産も開始

ひとまずは落ち着きましたが、中国での製造の不安定さを考えて、日本国内での製造も始めています。田中 栄二さんの息子、田中 秀樹さんは、かつて栄二さんが小田原に持っていた工場跡を売って、新たに国内に工場を設置することを計画しています。300年以上の伝統のある小田原漆器の後継を考えて、日本人職人の養成を始めていきたいと考えています。

日本国内での製造における最大の苦労は、農薬などに汚染されていない原木の確保です。一部の木材は、

山林に使用されることが多い除草剤が、溶出検査で原木から検出されるからです。農薬や生長促進剤などに汚染されていない放置林を根気よく見つけ、野生の原木を確保し、製造を開始しています。食器を汚染する化学薬品は、結局人が食べることとなりますので、原木の安全性から確認する必要があります。

TOMATO畑のこだわり

- ・すべて職人1人1人による手作業で作っています。
 - ・安全な天然木、中国原生林のクリ、ナツメ、カエデを使っています。国産材は農薬汚染のないことを確認したケヤキなどを使っています。
 - ・塗装や下塗りの目止め、原生林のウルシからとった漆や瓦土を使用しています。
 - ・漆は6回重ね塗りしています。
 - ・防腐剤(ホルムアルデヒド)、漂白剤(二酸化イオウ)など一切の化学処理をしていません。
 - ・日本国内では義務化されていない木製食器の溶出検査を長年、自主的に行い、その検査結果を公開して製品の安全性を確保しています。
- 安全性に関する詳しい解説は、オルターカタログ(2014年3月4週号)をご参照ください。

ケヤキトレーニングプレート

国産、無農薬のケヤキ材で作った国産製品の出来栄は素晴らしいものです。とくに幼児が使う「ケヤキトレーニングプレート」はおすすめです。容器のフチに返しがついている形で、子どもたちがスプーンを使う際、こぼさないように工夫がされています。こんなすばらしい食器を使わせてもらえる子どもはなんて幸せなことでしょう。介護向けの自助食器としてもご使用いただけます。

中国産原生林のナツメで作っている「食育セット」「ナツメこども椀」もおすすめです。「食育セット」は片づけが楽しめる文化食器です。「ナツメこども椀」は起きあがり小法師のように、底面に重心がありますので、子どもたちがこぼさずに使えるようになっています。側面の丸い形状は、月齢を問わず、手の大きさにかわらず、両手でギュッと握みやすくなっています。

アカシアのまな板

採取が限られている大型1枚板で製作されているまな板も絶品です。当然接着剤の使用もありません。無塗装、3~4mmに拭き漆という拭いて塗る技法で漆を混ぜた瓦土で目止めしており、耐水性・防腐性に優れ、何年も腐ることはありません。

TOMATO畑の 漆器

●食器ができるまで



私たちの工房について
原生林保護目的の木材を使うため、主に中国で製作



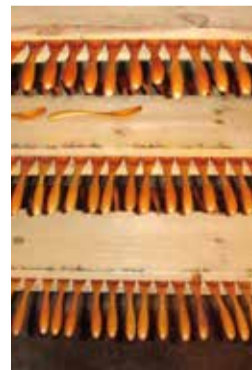
1 煮沸消毒・天然乾燥
薬剤処理を排した煮沸消毒と1年以上の天然乾燥



2 乾燥後選別
使えない木材は煮沸燃料等に
する循環型の製作



3 木地加工
全て手作業のため
1日40個~60個の製作数



4 目止め・本塗り
主に拭き漆の技法を用いた
天然漆の塗装



国内生産再開について
国内でも野生の木を使用した
製作を再開

別紙チラシで、TOMATO畑のこだわり漆器をご紹介します。